

至誠館大学

科目名	基礎ゼミ I ※(萩)			コード			
英語表記	Primary Seminar I						
担当教員名	山口季音・福田一儀			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	1		
授業形態	演習	授業形式		履修形態	必修		
授業概要							
<p>大学で学ぶ意義を各自が深め、そのための基礎的な方法論を各自が習得する。受け身で理解するのではなく、「学ぶ」「考える」「問う」という一連の技能を身につけるため、毎回の授業において課題に取り組んでもらう。さらに、自分の考えを表現する方法としてレポートの書き方の基本形式を身につけ、論理的に表現する方法を習得する。</p>							
到達目標							
<p>①大学で学ぶことの意義について理解し、自分のライフデザインを含めてその意味を考える。②ノートを取り方や講義の心得について理解し、実践できる。③問題意識を持ち、日々の生活から課題を見つけ論理的に考えることができる。④情報検索の仕方や内容のまとめ方、表現の仕方の基礎を習得する。</p>							
授業計画							
第1回	ガイダンス:ゼミの進め方						
第2回	大学で学ぶことの意義:高校までの学びとの違い、各自のライフデザイン						
第3回	大学における読書の仕方を学ぶ						
第4回	文章の書き方を学ぶ						
第5回	情報収集の仕方を学ぶ						
第6回	メディア・リテラシーとは何か						
第7回	自分自身の問題関心を考える						
第8回	問題関心の深め方						
第9回	レポートの書き方①						
第10回	レポートの書き方②						
第11回	レポートを執筆する						
第12回	要約の仕方を学ぶ						
第13回	レポートを評価する:「批判」と「非難」の違い						
第14回	それぞれの今後のテーマを考える						
第15回	まとめ:最終課題の提出						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業態度、毎回の課題とレポート提出によって評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	40		30
授業外学習			テキスト、教材				
毎回の内容を復習すること。また、回によっては予習のための課題に取り組んでもらうことがある。			なし。適宜必要な資料を配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
野矢茂樹『論理トレーニング 101題』産業図書、2001年			本授業では、原則として欠席は認められません。万が一欠席した場合には、各自で課題に取り組み、締切前に提出する必要があります。				
キーワード							
大学・レポート・論理・メディアリテラシー							